

佳作

生き物を大事にしよう

赤坂中学校 相澤 佳歩

私達人間は、自然環境が破壊されると生きていくことが出来なくなります。それは、人間以外の生き物も同じです。

私達の身の回りで、カラスがゴミをあさったり、サルが都会に出てきてしまったり、おばあちゃんの家に行くと、ムクドリが街の木に、何千羽も集まっています。街の人は、なき声やふんの公害でとつてもめいわくがっていました。ですが、鳥や動物たちが街の中にできてしまうというのは、森林伐採などで住むところが失われ、食べ物がなくなつたため、人間がしたこととせいでと、私は思います。

その他に、ニュースなどで見たのですが、人間が飼っていた魚を勝手に川に流し、外来種がもともとそこに住んでいた魚を食べてしまい、生態系が変わってきているそうです。そこで、その人は、お魚ポストをつくり、そこに捨てるように呼びかけ、自分でしばらくめんどうを見て、里親を探そうです。犬や猫ならまだしも、魚の里親を探すのはとても大変だと思ふし、とつても立派なことだと思いません。

森林伐採はテーマが大きすぎて、私では、あまり協力できないですが、ペットなどを最後まで責任を持って飼うと

いうのは、一人一人が努力すればとつても簡単なことだと思えます。事情があつて飼えなくなつても、川など、やたらな所に捨てないようになつてくれることが大事だと思います。

私も今、実際に、金魚すくいですくつたイモリを飼っています。元気に三年も生きています。このイモリも、最後までしつかり世話をするつもりです。

今、地球温暖化がだんだん深くなってきています。私の家は犬を飼っているんですが、夏は、土がなく、コンクリートの地面があつく、外に出せないのです、かわいそうだと思います。

この温暖化に関してはやれることがたくさんあると思います。私は、冷ぼうや、電気の消し忘れが多いので、そういうことをなくしていけたらと思います。